



パンチングレザーを織り交ぜた仕上げは、前席同様の高級感を演出。子供の食べこぼしなども、サッと拭けば簡単に掃除できる。センターアームレストの出し入れは、カバーの厚みが増えたせいで少し固くなる。中央のドリンクホルダーは問題なく使用可能だ。

純正シートに備わる機能をすべて利用できる



シートカバー装着後でも、ステーションワゴンならではの多彩なシートアレンジが可能。今や常識となったチャイルドシート固定用のISOFIX機構の使用も妨げず、なんら純正機能を損なわない設計だ。パッと見ても、カバーとは気づかれないだろう。

DIA QUILT COLLECTION

価格:3万9800円+税(2列シート全席分)、2万9800円+税(2シーター車)



ファッショナブルなダイヤキルトデザインを採用するモデル。ダブルステッチによって刻まれたディテールはドレスアップ性が高く、シートカバーの装着をよりアピールできる。パイピングとステッチのカラーは同色で、シート色に華を添えるようなアクセントを意識。ブラックレザーにレッドやオレンジを組み合わせれば、スポーティなインテリアを演出できそう。さらにオリジナリティを追求したい場合は「ス・ミズーラ」というカスタムメイドモデルも用意されている。

シートカバーを装着すれば保護とドレスアップを両立

愛車と常に触れ合うシートは、ドライバーにとってもっとも重要な部分といえる。それだけに、上位グレードには上質なレザーがおごられ、独特の風合いが高級感を演出してくれるのだ。そんなレザーの質感を、手軽に味わえるのがシートカバー。エルディーネからはBMW専用設計で2タイプのデザインが用意されており、ほとんどの車種をラインアップしている。純正がファブリックシートの場合はイメチェン効果も高く、装着するだけで上位グレードの雰囲気演出。汚損や紫外線などによる劣化も防止できるので、買い替え時の査定も高評価が期待できそう。そして何より、見た目のドレス

アップ効果は相当なモノ！ 外観を飾るエクステリアパーツと違って、常に触れ合うインテリアパーツは、自分を含めて乗車する全員が実感できる満足度の高いアイテムといえるだろう。シートカバーのメリットを確認したところで、気になるのは品質だ。いくら高級感の漂うレザーとはいえ、フィッティングが悪ければチープな印象で逆効果になってしまう。その点、エルディーネの製品は心配無用。ドレスアップ雑誌でも有名な国産車用シートカバーの大手ブランドが製造元で、フィッティングの良さはカー用品量販店も信用するハイクオリティな逸品。複雑化する各部形状やシートアレンジにも対応しており、使うほどに馴染んでシートとの一体感が増すという。今回の取材では装着したばかりの状態を撮影

したため、これでもシワが気になるとのこと。レザーが馴染めば、張り替えと遜色ない一体感になるというのだ。そして、お客様の期待を裏切らないよう徹底しているのが品質管理。製造元での検品を経て、出荷前にも自社にて検品を実施。表地ばかりか裏地までチェックし、装着の過程で引つ張るのも想定して完璧な製品のみをお届けしている。価格からは想像できない手間だが、これが違いがわかるBMWユーザーに信頼される理由。気持ち良く取り付け、満足して乗ってもらおうという行程にも配慮しているのだ。さあ、あとはどのタイプのシートカバーを選ぶのかはユーザーのお好み次第。シックに決めるのか？ オシャレに飾ってみるのか？ 悩む時間から、楽しいひとときを味わってみよう。

3D構造マット Solide

価格:2万9800円+税(1台分5ピースセット)



ゴミや砂をキャッチできる立体構造のフロアマット



車種別専用設計にてリリースされるフロアマット。立体的な3D構造なのが特徴で、受け皿のような形状となっているため、ゴミや砂をフロアに落とすことがない。掃除も簡単のため、使うほどに便利さを実感できる秀逸な設計だ。エッジカラーは5色から選べるので、シートカバーとのコーディネートも可能。シンプルなオールブラックも用意される。